



研究テーマ

- 1 宮崎県児湯郡都農町における地域資源創成と地域振興
- 2 プロジェクト学習を通じた地域振興と学びのあり方
- 3 産業地域における構造転換とその影響、政策



瀬川 直樹

せがわ なおき
地域資源創成学部

准教授

キーワード

都農町、地域振興、アクティブラーニング、プロジェクト学習、フィールドワーク、経済地理学、産業立地、産業集積、地域経済学、地域産業政策、製紙業

特許情報・
共同研究・
応用分野など

1. 都農町・川南町における地域産業連関分析
2. 「製糸業における産業再編・企業合併に伴う立地変動と要因」『経済地理学年報』第64巻1号（2018年，共著）ほか

研究概要

地域問題、地域課題とは何だろうか？ なぜいま地域資源なのか？ 地域経営学講座では、日々このようなことを考えながら、宮崎県児湯郡都農町を舞台として、学生の地域実践（正課外も含む）を指導しています。地域振興と学生の学びの双方を実現するための学習と実践のあり方について、教育・研究を進めていきます。

一方で、産業と地域との関わりについても検討を進めていきます。具体的には、国内の主要製紙業が集積する地域における様々な構造転換の実態を捉え、特定の産業が卓越する地域における地域産業政策のあり方について、研究を進めていきます。

1 宮崎県児湯郡都農町における地域資源創成と地域振興

地方消滅などというショッキングな言葉が後を絶たないなか、人口減少が引き続く多くの地方では、地域の持続性を担保するためそれぞれ試行錯誤を繰り返しています。都農町においても、コミュニティの弱体化や市街地再編、廃校の活用といった多くの課題を乗り越えるため様々な取り組みを行っています。地域経営学講座は都農町による寄附講座であり、学生がそうした問題解決に取り組みながら学び、研究を進めていくことを目指しています。

2 プロジェクト学習を通じた地域振興と学びのあり方

本講座では、都農町をフィールドとして、学生、教員が地域の方々とともに新しい地域のあり方を探るプロジェクト学習に取り組みます。様々な場面で他者と協働しつつ知恵やアイデアを出しあい支えあうプロセスのなかには大きな学びがあります。

しかしながらそれは、学習である以上、ただの経験、体験にとどまらずに、新たな知識獲得の必要性の認識を獲得するものでなければなりません。この点がプロジェクト学習の最大のねらいです。また、他者と協働するために必要な作法やセンスを身につけることも重視しながら、地域社会との接点を学生たちとともに広げていきます。

いま、本講座には、他学部も含め、仲間たちとの学びあいを自己の学習に活かしたい、そんな思いをもった学生たちが集まってきています。

3 産業地域における構造転換とその影響、政策

旧産業地域(OIA)の再生における新産業創出と政策的支援のあり方を考える上で、斜陽化が進む製紙業を中核とした産業集積を対象として、業種の構造転換に向けた取り組みを捉え、進化経済地理学で提唱される概念（経路依存性、経路創造、ロックイン、関係多様性等）や地域産業政策に関する検討を、海外の議論や取り組み事例を踏まえつつ進めていきます。

ホームページ

宮崎大学 地域資源創成学部 地域経営学講座（都農町寄附講座）
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/miyadaitsumo/>

技術相談に応じられる関連分野

・アクティブラーニング（プロジェクト学習、フィールドスタディ、サービスマーケティング等）による地域実践、またはそれを通じた地域振興

メッセージ

学生とともに学びながら活動したい皆様からのご連絡をお待ちしております。